



～渡良瀬遊水地～ 自然紹介



2025.9.3

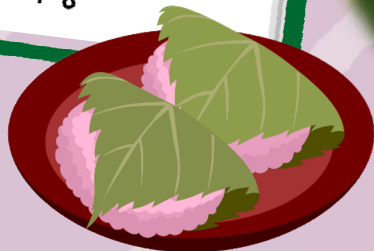
長

月。今年の夏は雨が少なく、遊水地内の点在している池や沼の水がほとんど干上がっている状況です。水辺を利用する生き物たちにとっては少し厳しい環境です。そんな中でも夏の終わりを告げるツクツクボウシが鳴き始め、フジバカマやタコノアシなど初秋の花も咲き始めました。早くも秋の様相へと変化する遊水地へ是非お出かけください。

フジバカマ

キク科 多年草

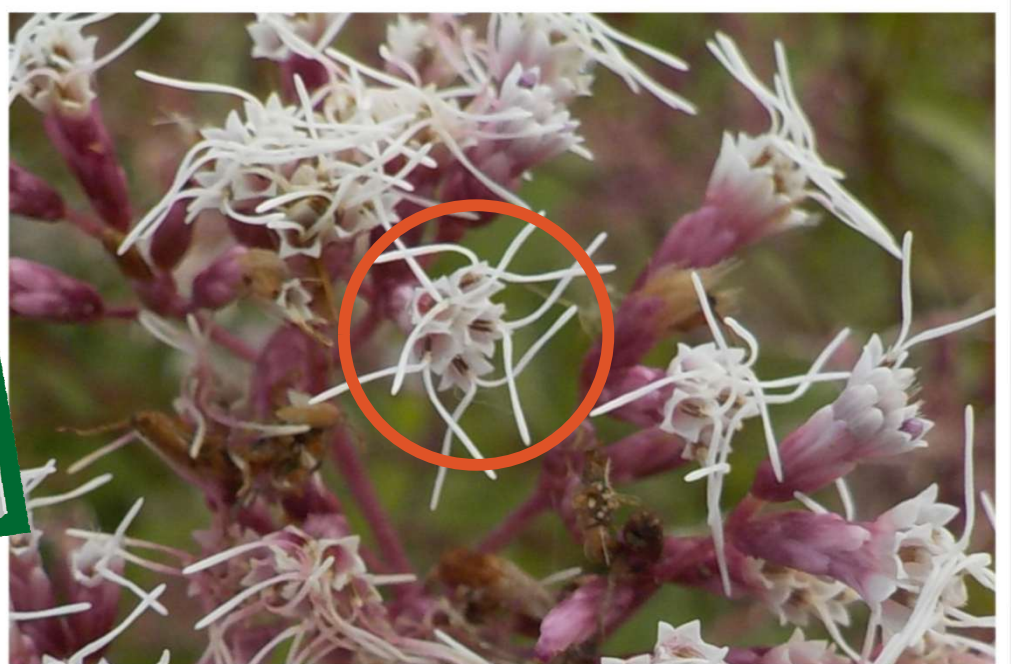
奈良時代に薬草として中国から日本に伝来。秋の七草に数えられ、昔は川べりなどに群生していましたが、最近は野生のものはあまり見られません。遊水地は数少ないフジバカマの自生地。



フジバカマはサクラの葉と同じクマリンという物質を含み、生乾きのときに桜餅のような香りがします。中国では香袋や入浴剤にしたりして、その香りを楽しみました。また陰干しして乾燥させたものを蘭草（らんそう）といい、神経痛やかゆみ止めの効果があるとされます。

～花のつくり～

頭花は5個の淡紅色をした筒状花が集まってできています。筒状花の先は5裂しており、内部から2つに裂けた白色のひも状の花柱（雌しべ）が突き出しています。※筒状花…おしべとめしべだけで花びらがない





タコノアシ
準絶滅危惧 (NT)



ウスゲチヨウジタデ
準絶滅危惧 (NT)



ゴマクサ
絶滅危惧Ⅱ類 (VU)



茎には下向きの
とげがあり、
触ると結構痛いよ。



サデクサ
栃木レッドリスト種



ナンバンギセル
群馬・埼玉レッドリスト



ミズアオイ
準絶滅危惧 (NT)



カジノキの果実

赤い果実は
1粒1粒へら型
になっており、
ほんのり甘い！



ヨシの穂